

「彩夏祭」は30周年!!

合言葉は
笑顔と元気を朝霞から

今年は 8/2^金・3^土・4^日開催

昭和59年（1984年）、「市民相互の連帯感を高め、郷土愛の育成を図り、心ふれあう人間性豊かなコミュニティを築いていくこと」を目的として開催した第1回市民まつり。当時は、盆踊り、打上げ花火355発、ヒーローショー、アマチュアバンド演奏、郷土芸能などが催され、約6万5千人の来場がありました。

あれから30年、朝霞市民まつりは、「ふるさと朝霞」に思い出と歴史を刻んできました。

第1回 盆踊り



第12回 みこし巡業



富岡市長(前列左)が岡崎高知市長(前列右)を表敬訪問

高知「よさこい全国大会」に「彩夏祭関八連」初参加



高知「よさこい祭り」は60周年

人と人の絆を大切にしたいと始めた「彩夏祭」ですが、今では、この祭りの絆は朝霞の地を越えて広がっています。東日本大震災の復興支援の一環として、一昨年より福島県の「うつくしまYOSAKOIまつり」から「うつくしま復興PR隊」に関八州よさこいフェスタにご参加いただき、それを受けて、彩夏祭から特別編成チーム「彩夏祭関八連」の踊り子を派遣するなど相互に交流をしています。

また、「災害時における相互応援に関する協定」が縁で、昨年12月には岐阜県瑞浪市の祭り「バサラカーニバル」にも「彩夏祭」のPRとして「彩夏祭関八連」が初参加。

さらに、朝霞市民まつり「彩夏祭」が本州で初めて鳴子踊りを取り入れたつながりで、よさこい鳴子踊り本場の高知「よさこい祭り」から、第27回朝霞市民まつりに高知の鳴子チーム「とらっく」に参加していただいたり、昨年の高知「よさこい全国大会」には朝霞から「彩夏祭関八連」が参加したりするなど交流を深めています。こうした縁で、4月26日(金)に行われた「高知よさこい情報交流館」オープニングイベントでは、富岡市長が岡崎高知市長を表敬訪問（上写真中央）しました。



彩夏祭当日・翌日の清掃活動



踊り子への給水

華やかなまつりが開催される裏には、たくさんの人びとの協力があります。

まつりの企画からさまざまな団体や機関との調整をはじめ、開催のための協賛金募集活動、まつり会場周辺にお住まいの方へのチラシ配布、鳴子踊り参加者への給水、まつり当日と翌日の清掃活動など…。

市民まつり実行委員をはじめとする市民の皆さん、協賛金に賛同いただいた皆さん、企業の皆さん、朝霞市にゆかりのある皆さんのご理解、ご協力があって、昨年は約65万人もの人びとが来場する大きなまつりへと成長しました。

これからも、皆さんのご協力を得て、より多くの人に「笑顔」と「元気」を朝霞から発信していきます！



第28回 復興支援ブース福島

彩夏祭グッズの販売

- ・彩夏祭ポロシャツ
(ホワイト、オレンジ、ミントグリーン・サイズSS~3L)
各1着1,500円(税込)
- ・「彩夏ちゃん」マフラータオル
1本900円(税込)

期間 / 6月17日(月)~7月17日(水)

場所 / 地域づくり支援課窓口

問 / 朝霞市民まつり実行委員会事務局 (地域づくり支援課内)

内2252 ☎463-2645